

おおだて型学力推進委員会

SHI・N・KA

……進化・真価・深化・心価・新科……

H28.3 第11号

担当：教頭会

「おおだて型学力」推進に係わる大館市教頭会の研究

～小・中連携の在り方，ふるさとキャリア教育の推進～

平成27年度と平成28年度とをつなぐ時期となりました。

年度末の慌ただしい時期ではありますが、「♪今年の研究，今年の中に…♪」というわけで，今年度の教頭会の取組についてお知らせいたします。他の部会と重複することも多いと思われませんが，大館市教頭会もまた，「おおだて型学力」向上を目指して研鑽してきました。次年度，一層の推進に向けた糧となることができれば幸いです。

1 はじめに

大館市教育委員会からの「第8次学力向上に関する提言」に基づいて，大館市教頭会（会員数：25）では，「**地域とつながる組織運営**」を重点研究項目として研究実践することになっています。そのため，昨年度に引き続き今年度も全6分科会のうち，2つの分科会（第1分科会「**おおだて型学力**」を育てる小・中連携の在り方，第2分科会「**おおだて型学力**」を育てるふるさとキャリア教育の推進）で「おおだて型学力」の育成について取り組み，その成果を全体で共有し合いながら，3年間（H26～28）ですべての会員が「おおだて型学力」について研修を深めるとともに，その他の分科会でも可能な限り「おおだて型学力」の育成を意識した取組を行うことにしました。

2 研究課題 「今日的な教育課題の解決に向けた教頭の関わり」

- (1) 教頭の今日的課題を取り上げ，より焦点化したテーマを設定して研究を進める。
- (2) 個人研究による情報交換をベースにして，各研究テーマに係る課題解決のための具体的な教頭の役割や関わりについて明らかにしていく。

3 研究の進め方

(1) 第1回教頭研修会（平成27年6月2日）

全会員で「おおだて型学力」にかかわる資料について確認をするとともに，分科会で，それぞれのテーマについて問題になっている点や悩みを出し合い，今年度の各分科会，個人の課題を明らかにし，研究の方向性の見通しをもちました。

<分科会の構成>

- ①「おおだて型学力」を育てる小・中連携の在り方（4名）

- ②「おおだて型学力」を育てるふるさとキャリア教育の推進 (4名)
- ③教職員の指導力向上を図る手立て (4名)
- ④確かな学力の定着を図る取組 (4名)
- ⑤特別な支援を要する子どもへの対応 (5名)
- ⑥職員の不祥事根絶のための取組 (4名)

(2) 第2回教頭会研修会(平成27年8月19日)

分科会で、各自で作成した課題解決への取組やアイデア、教頭の関わりや役割に関するレポート(A4判1枚程度)を持ち寄って協議しました。

(3) 第3回教頭会研修会(平成28年2月15日)

研究紀要にまとめられた各自の成果と課題を基に、各テーマ別分科会の研究内容をまとめて発表し合い、共有しました。取組状況や成果と課題など話題になったことをお知らせします。

①「おおだて型学力」を育てる小・中連携の在り方

- * 9年間をいかにつなぐかが重要：よりよい連携をするために肝要なこと、工夫
 - ・校内の調整と学校間(小・中, 小・小)の連絡調整により、活動をつなぐ。
 - ・事務局校からの1回目の連携記録の早期配信…方向性をつなぐ。
 - ・ネーミングによる一体感の醸成…各校で行われている類似した活動をつなぐ。

◎生活習慣に関わるものは連携しやすい。

- * 組織がどうあればよいかは課題

・事務局(校)…固定化すると動きや流れが分かりやすいが、負担が集中する。

- * 「連携」をどの程度行うかは、要検討

・回数, 時期…年2回開催が多い。2回目の時期は2学期中がよいのでないか。

●「連携」と「統一」とは違うことを見失わないよう留意する。

②「おおだて型学力」を育てるふるさとキャリア教育の推進

- * 課題解決の過程の工夫：反省で終わらず、新たな課題を見だし次年度につなぐ

◎活動のスパイラル化が図られた。

◎パンフレット配布時に相手への説明を付加したことが表現力育成の機会になった。

- * 地域貢献を意識して、9年間を見通し小・中連携したふるさとキャリア教育の工夫

◎小・中が同じ行事に参加したり同じ施設に訪問したりすることによる成果。

→ 参加意欲の向上

・活動の重複を調整しながら、スパイラル化を図って、発展的に推進する。

●9年間を見通した行事の在り方を再考したい。

- * 広報活動の推進・工夫と地域貢献

◎地域, 事業所などとの連携が深まった。

●学んだことをどのように地域に還していくかを検討したい。

- * 校内組織の工夫

◎担当に任せていた活動が計画的・組織的に行われるようになってきた。